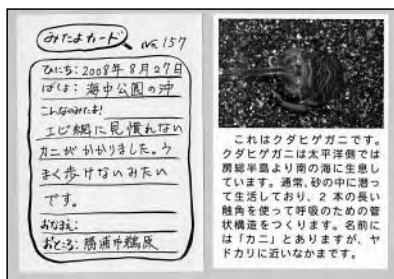
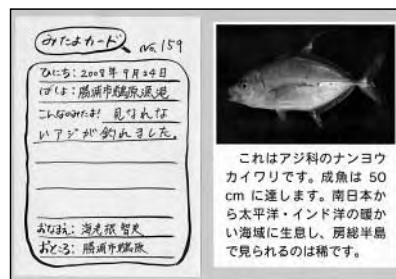


(2) こんなのみたよ！

このコーナーでは、入館者や地元の方から寄せられた生きものの情報を紹介しています。平成20年度はシギウナギやクダヒゲガニ、ウナギギンポなど、あまり目にする事のない珍しい海の生きものの情報をご覧いただくことができました。情報を随時受け付けておりますので、お気軽に博物館スタッフまで声をおかけください。



みたよカード No. 157
クダヒゲガニ



みたよカード No. 159
ナンヨウカイワリ

平成20年度に紹介した話題			
152	ジンガサハムシ	157	クダヒゲガニ
153	シギウナギ	158	ウナギギンポ
154	ハコフグ	159	ナンヨウカイワリ
155	シロオニタケ	160	ヒバカリ
156	タツノオトシゴ		

(数字は開館時からの通し番号です)

(3) こんな研究をやっています

海の博物館には、平成20年度には7名の研究員が所属しており、それぞれが特定の分類群の海洋生物を調査・研究しています。その成果は、各学会で発表され、学術雑誌等に公表されますが、一般にはそれらを目にする機会はなかなかありません。このコーナーでは、それぞれの研究テーマや研究成果のエッセンスを紹介しています。

【今年度紹介したテーマと担当者】

- ・海外の博物館に保存されている日本産イソギンチャクの標本調査(柳 研介)
- ・紅藻アカネグモアマノリ(仮称)の分類 その2(菊地則雄)



海外の博物館に保存されている
日本産イソギンチャクの標本調査

マッコウクジラの下顎骨

平成20年12月から、ロビー内の展示にマッコウクジラの下顎骨が加わりました。この骨は平成15年12月に千葉県白浜町(現南房総市)に死亡漂着した体長17.6mの雄のマッコウクジラの下顎骨で、長さが4.9mもあります。これまでロビー外の中庭に設置され、ガラス越しにご覧いただいていたものですが、補修工事後にロビー内に移動し、間近でご覧いただけるようになりました。中庭に展示中のツチクジラの全身骨格標本と比べながらじっくり観察してみてください。



マッコウクジラの下顎骨(下)と
ツチクジラの全身骨格(上)

(4) トピック展示

展示室の体験カウンターなどで、話題性の高い生きものなどを展示するのがトピック展示です。平成20年度は、海の博物館職員が執筆している千葉日報連載「海の紳士録」に紹介された生きものを数多く紹介しました。



海の博物館近くの鵜原理想郷で採集されたハマダンゴムシ。海辺にすむダンゴムシです。

平成20年度に紹介した話題
平成19年度に提供していただいた資料（平成20年2月28日～21年2月19日）
ヨツバコツブムシ（平成19年7月19日～20年6月1日）
アサガオガイ（平成19年8月26日～20年6月22日）
豊潮丸サンゴ標本（平成19年10月8日～21年2月3日）
ウルトラブンブク（平成19年12月27日～21年3月31日）
南の海からやってきた魚（平成20年4月30日～5月14日）
エラブウミヘビ（平成20年5月5日～9月26日）
マルミカイガラカツギ（平成20年6月4日～7月29日）
オカダウミウシ（平成20年6月25日～8月11日）
イソハナビ（平成20年7月2日～9日）
エボシガイ（平成20年7月21日～8月17日）
タツノオトシゴ（平成20年8月4日～9日）
コマチイバラモエビ（平成20年8月5日～10月12日）
長崎の被爆した瓦（平成20年8月10日～9月15日）
ルリガイ（平成20年8月12日～9月30日）
スズコケムシ（平成20年8月20日～27日）
無節サンゴモ（平成20年8月27日～9月15日）
クダヒゲガニ（平成20年8月28日～9月27日）
ヒメキンチャクガニ（平成20年9月23日～10月29日）
キクメイシモドキ（平成20年10月1日～11月4日）
オオノアナメ（平成20年10月8日～10月19日）
ムラサキハダカエボシ（平成20年10月13日～11月16日）
ハマダンゴムシ（平成20年10月30日～21年1月5日）
カザリイソギンチャク（平成20年11月5日～12月28日）
シオガマサンゴ（平成20年11月19日～21年1月5日）
クロフジツボ（平成20年12月6日～21年2月1日）
黒潮に乗ってやってきた魚（平成20年12月7日～12月14日）
ミドリヒモムシ（平成21年1月2日～3月31日）
ハリガネムシ（平成21年1月25日～3月18日）
イワフジツボ（平成21年2月3日～2月19日）

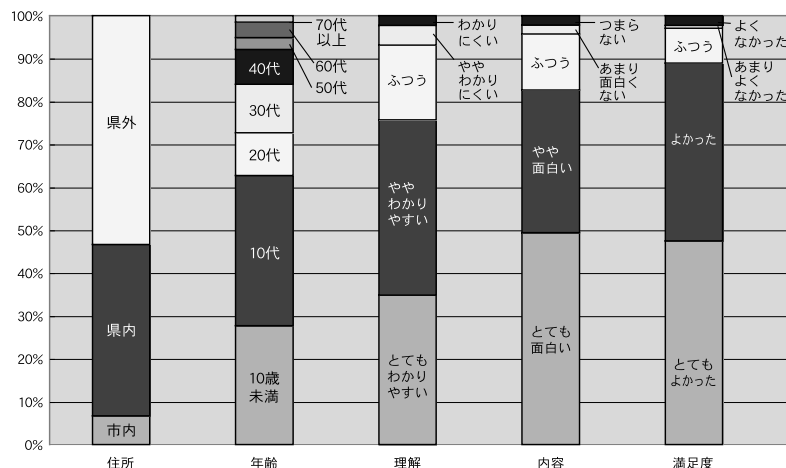
(5) マリンサイエンスギャラリー・収蔵資料展

海の博物館では、企画展示として、毎年異なったテーマで海の生きものや自然をくわしく掘り下げて紹介するマリンサイエンスギャラリーと、収蔵している標本や映像を中心に構成する収蔵資料展を開催しています。平成20年度の展示のようすは、5～7ページをご覧ください。

平成19年度マリンサイエンスギャラリー 「オスメスの不思議－海動物の世界から－」実施報告

平成19年度のマリンサイエンスギャラリー「オスメスの不思議－海動物の世界から－」では、人間にとっても奥の深い問題であるオスとメスについて海動物に焦点を当て、様々な海動物の標本、生体、写真などを用いて、その多様なオスとメスの姿を紹介しました。アンケート結果からは、魚の性転換や、ウミガメ、アメフラシなどが人気だったようです。詳しい内容は、いそび通信No.9(平成19年度版)に掲載されています。

会期：平成20年2月23日(土)～平成20年5月6日(火・休)
期間入場者数：18,570名
アンケート回答数：598名



「大藪 健の写真展」

平成20年12月18日～21年1月12日まで、研修室において大藪健さんの写真展を開催しました。大藪さんは2005年まで千葉の県立高校で理科(主に生物)の教師を務められ、現在は「いすみ郡市自然を守る会」の代表をされています。今回の写真展は、大藪さんが趣味のダイビングで撮影された魚類を中心とする水中写真で、千葉県の上浦・館山のほか八丈島、沖縄、グレートバリアリーフなどで撮影されたものを展示しました。



(6) 体験交流員の活動

●展示室の歩き方

「展示室の歩き方」とは、体験交流員が展示室をご案内する行事です。当館の展示室は大きいとは言えませんが、お客様にご覧いただきたいポイントはたくさんあります。約10分間の解説ですが、ご希望に応じて、時間を延長させていただくこともあります。お客様との会話を楽しみながら、和やかな雰囲気での解説ですので、お気軽にご参加ください。

●海の体験コーナー

「海の体験コーナー」では、展示室で海に関わりのある工作や実験などに挑戦していただけます。平成20年度は計40回実施し、164名の方にご参加いただきました。またメニューは新たに「微小貝を探そう」が加わり、合計5つとなりました。お子様から大人の方まで楽しんでいただける行事ですので、ご来館の思い出に参加してみませんか？



●みんなで工作 海の生きもの

平成20年度から、体験交流員を講師とした「みんなで工作 海の生きもの」を行っています。詳細は「平成20年度のトピックス」(P. 9)をご覧ください。

実施日	メニュー	参加者数
平成20年7月12日(土)	エコデコイの色塗りをしよう (2回)	19
平成20年7月26日(土)	エコデコイの色塗りをしよう (2回)	17
平成20年8月 5日(火)	コーラルプリントをしよう (2回)	10
平成20年8月 8日(金)	海藻おしばを作ろう (2回)	12
平成20年8月20日(水)	コーラルプリントをしよう (2回)	13
平成20年8月26日(火)	海藻おしばを作ろう (2回)	20

2. 教育普及活動

海の博物館では、皆様が海と触れあい、海に関する知識を深めてもらえるような、さまざまな教育普及活動を行っています。

(1) 観察会、講座、磯・いそ探検隊、博物館探検隊、タッチプール

平成20年度は観察会10回、講座5回、磯・いそ探検隊(フィールドトリップ:当日申込みのミニ観察会)13回、博物館探検隊(バックヤードツアー)4回、タッチプールを16回行いました。また、各種団体を対象としたフィールドトリップを28回実施しました(P.17)。

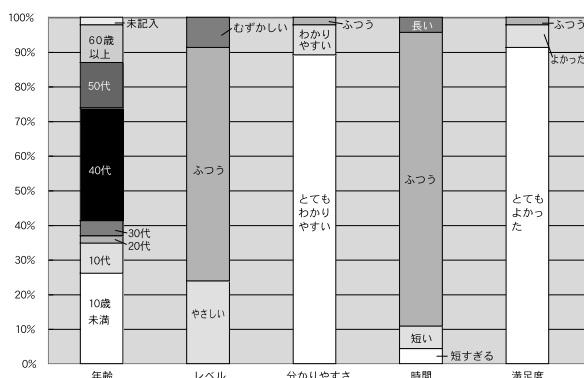
平成20年度実施一覧

●観察会

実施日	行事名	担当	参加者数
平成20年4月27日(日)	春の鵜原理想郷で植物を観察しよう	野口昭造 ¹⁾	9
平成20年5月5日(月・祝)	親子で磯の生きものを探そう1	村田明久	19
平成20年5月6日(火・祝)	ウミウシを観察しよう	立川浩之	19
平成20年6月7日(土)	親子で磯の生きものを探そう2	村田明久	3
平成20年7月5日(土)	海辺にエビ・カニを訪れる会	奥野淳兒	17
平成20年7月19日(土)	親子で魚を観察しよう	乃一哲久 ²⁾	18
平成20年7月27日(日)	水中メガネで海の生きものを観察しよう	柳 研介	19
平成20年8月24日(日)	鵜原理想郷で海辺の野鳥を観察しよう	布留川毅	7
平成20年10月5日(日)	秋の鵜原理想郷で植物を観察しよう	野口昭造 ¹⁾	10
平成21年3月14日(土)	海藻を観察しよう	菊地則雄	5

¹⁾外部講師 ²⁾中央博物館教育普及課

アンケートの結果と参加者の声



- ・とても楽しく気持ちよく、充実した1日を送ることができました。ありがとうございました。(「ウミウシを観察しよう」40代女性)
- ・海でウミウシを見つけるのが楽しかった。(「ウミウシを観察しよう」40代女性)
- ・ありがとうございました。楽しい休日を過ごせました。(「海辺にエビ・カニを訪れる会」40代女性)
- ・多くの鳥の特徴や生態をとてもわかりやすく丁寧に教えていただき充実した日を過ごせました。ありがとうございました。(「鵜原理想郷で海辺の野鳥を観察しよう」50代女性)



観察会



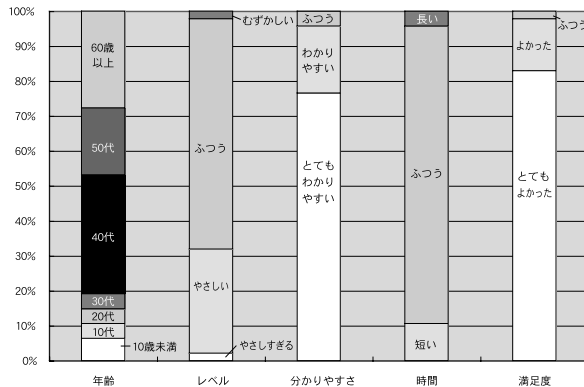
博物館探検隊

●講座

実施日	行事名	担当	参加者数
平成20年5月6日(火・休)	ウミウシを観察しよう	立川浩之	19
平成20年7月5日(土)	海辺の鳥たち	桑原和之 ¹⁾	9
平成21年3月15日(日)	東洋のガラパゴスー小笠原諸島の海の生きもの	立川浩之	10
平成21年3月22日(日)	東洋のガラパゴスー小笠原諸島の海の生きもの	立川浩之	3
平成21年3月29日(日)	東洋のガラパゴスー小笠原諸島の海の生きもの	立川浩之	16

¹⁾ 中央博物館環境教育研究科

アンケートの結果と参加者の声



- ・時間の配分に考慮し、むだのないようにするとともによかったですと思います。(「海辺の鳥たち」60代男性)
- ・外での観察も内でのレクチャーも両方よかったです。(「海辺の鳥たち」50代女性)
- ・小笠原が大好きなのでとても楽しく聞くことができました。住んでいた方のお話や調査をしていた方のナマのお話だったのでとても面白かったです。(「東洋のガラパゴスー小笠原諸島の海の生きもの」30代女性)
- ・2ヶ月前に小笠原に行って来たばかりなので、とても親しみを感じました。世界中で、小笠原にしかない生物も多いのでぜひ守って行って欲しいと思います。(「東洋のガラパゴスー小笠原諸島の海の生きもの」60代女性)

- ・小笠原の講座を生物別に開催してほしいです。例えば無せきついでコース、魚類コース等。(「東洋のガラパゴスー小笠原諸島の海の生きもの」40代女性)

●磯・いそ探検隊(フィールドトリップ)、博物館探検隊(バックヤードツアー)、タッチプール

磯・いそ探検隊

実施日	担当	参加者数
平成20年4月6日(日)	菊地則雄	10
平成20年5月4日(日・祝)	柳 研介	16
平成20年5月4日(日・祝)	柳 研介	18
平成20年5月4日(日・祝)	柳 研介	18
平成20年7月20日(日)	奥野淳兒	22
平成20年7月21日(月・祝)	立川浩之	15
平成20年8月16日(土)	立川浩之	16
平成20年8月16日(土)	立川浩之	14
平成20年8月17日(日)	柳 研介	16
平成20年8月17日(日)	村田明久	15
平成20年8月30日(土)	奥野淳兒	17
平成21年3月28日(土)	菊地則雄	16
平成21年3月29日(日)	菊地則雄	16

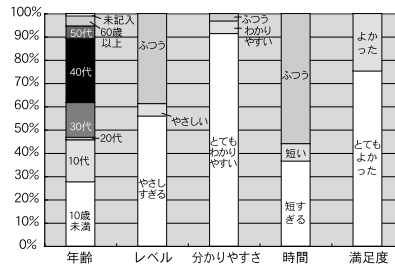
博物館探検隊

実施日	担当	参加者数
平成20年5月3日(土・祝)	菊地則雄	14
平成20年5月3日(土・祝)	菊地則雄	16
平成20年11月3日(月・祝)	奥野淳兒	7
平成20年11月3日(月・祝)	奥野淳兒	7

タッチプール

実施日	担当	参加者数
平成20年8月12日(火) (6回)	奥野淳兒	65
平成20年8月13日(水) (5回)	柳 研介	49
平成20年8月14日(木) (5回)	村田明久	58

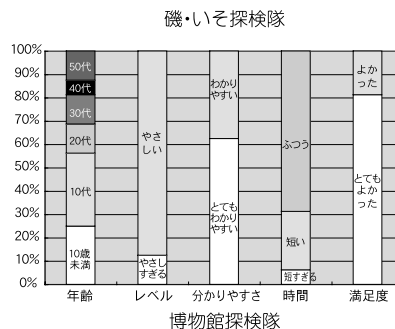
アンケートの結果と参加者の声



- ・海と山の生き物が似ている。ダンゴ虫と舟虫が同じとは…。(磯・いそ探検隊50代男性)

- ・潮のひいた磯でこんなに生物がいるのが面白かった。イセエビが美しい色でびっくりした。緑色ははっきりしている。あみは一人ずつあればもっと楽しい。(磯・いそ探検隊60代女性)

- ・何度も来た事のある磯ではあるが、改めて解説と生物の名前を聞きながら「ながめる」から「観察する」に意識が変わると見る景色も違って見える。(磯・いそ探検隊40代男性)



- ・暑かったけどめずらしい生き物が見ることができてとても楽しかったです。子供達にもきょうな体験でした。(磯・いそ探検隊30代女性)
- ・なんで博物館があるのかなどが実感できて面白かった。(博物館探検隊20代男性)

- ・子供の(小学2年)ちょっとした質問にも真剣にお答えいただき、参加して良かったと思いました。他の行事にも参加したいと思います。ありがとうございました。(博物館探検隊30代女性)

(2) 学校連携

●海の世界学習研修会

海の世界学習研修会は、千葉県総合教育センターとの共催事業として毎年実施している教員向け研修会です。平成20年度は、小・中学校の教員20名を対象とし、7月31日・8月1日の2日間、主に磯の生きものの観察やヤドカリを用いた室内実験、生きものの分布マップづくりなどを行いました。



海の世界学習研修会 ヤドカリ実験中！

●野外実習授業

野外実習授業は、学校教員と当館研究員が共同で磯観察などの校外学習を実施するものです。毎年多くの学校から磯観察等の実施希望が寄せられますが、本年度は25件1,681名を対象に実施することができました。

このうち、7月4日の勝浦市立総野小学校の野外実習授業は、昨年度に続き、NPO法人「海の自然史研究所」と協同して、米国カリフォルニア大学バークレー校ローレンス科学教育研究所において開発・運営されている「海を学ぶ体験型科学教育カリキュラム」であるMARE(Marine Activities, Resources and Education)プログラムを実施しました。



MAREプログラムを体験する総野小学校の児童

野外実習授業実施一覧

実施日	学校名	参加者数
平成20年 5月 8日(木)	勝浦市立豊浜小学校	29
平成20年 5月22日(木)	目黒区興津健康学園	31
平成20年 5月23日(金)	豊島区立竹岡健康学園	19
平成20年 5月23日(金)	大多喜町立西畑小学校	33
平成20年 5月28日(水)	小金井市立第三小学校	144
平成20年 6月 2日(月)	目黒区興津健康学園	13
平成20年 6月 3日(火)	小金井市立第四小学校	106
平成20年 6月 4日(水)	大多喜町立西畑小学校	33
平成20年 6月 4日(水)	勝浦市立興津小学校	96
平成20年 6月 5日(木)	小金井市立東小学校	103
平成20年 6月10日(火)	小金井市立前原小学校	102
平成20年 6月11日(水)	小金井市立第二小学校	87
平成20年 6月17日(火)	いすみ市立国吉小学校	27
平成20年 6月18日(水)	勝浦市立行川小学校	44
平成20年 6月19日(木)	勝浦市立豊浜小学校	124
平成20年 7月 1日(火)	君津市立秋元小学校 三島小学校	23
平成20年 7月 2日(水)	いすみ市立千町小学校	25
平成20年 7月 3日(木)	東京学芸大附属小金井小学校	163
平成20年 7月 3日(木)	勝浦市立総野小学校	29
平成20年 7月 4日(金)	いすみ市立長者小学校	62
平成20年 7月 9日(水)	いすみ市立岬中学校	74
平成20年 7月21日(月)	東海大附属浦安高校	39
平成20年 7月23日(水)	市川市立中山小学校	115
平成20年 8月 6日(水)	東京海洋大学	86
平成20年10月15日(水)	君津市立八重原小学校	74

●県立長生高校とのサイエンスパートナーシッププロジェクト(SPP)の連携

SPPは、文部科学省が推進している「科学技術・理科大好きプラン」の一環として実施されている、学校と研究機関等との連携活動です。平成20年度は、当館上席研究員の奥野を講師に、県立長生高校1年生34名を対象として、6月8日と10月1日に長生高校での講義、6月17日および8月2～3日に海の博物館で磯の生物相に関する実習を行いました。

この他、上席研究員の吹春を講師に、県立成東高校の生徒12名が、SPPにおいてキノコに関する実習を行いました。